

基督教学研究

第 2 号

論文

オリゲネスの「キリスト教理解」

〔ケルソス駁論〕三・一二）……………

水垣 渉……………一

「ゲッセマネ」（マルコ一四章三二—四二節）

——「受難物語とマルコ」の問題に関連して……………大島 征二……………三

神学における言葉の問題

——ブルトマンとエーペリングとの討論に関連して……………

竹原 創一……………五

アウグスティヌスにおけるキリストの人性について

——「聖徒の予定」をめぐって……………小池 三郎……………六

研究ノート

ギリシア語旧約聖書における *razdela* について

——聖書における「形成」の研究(1)……………伊藤 利行……………七

エルンスト・トレルチにおける „Kompromis“ の概念

……………安 酸 敏 真……………一〇

シェリングに於ける「世界」経験について……………

……………森 哲 郎……………二九

彙報

ルターにおける「外」と「内」についての一考察……………片柳 俊 子……………三三

昭和五四年度基督教教學講座講義題目

水垣 渉助教授	講義「古代キリスト教思想史」	研究「初期キリスト教における「探求」の問題」	第二演習「Origenes: De principis」	第二演習「院生の研究発表及び討論」	研究「キリスト論の動向と變化」	研究「トマス・アクイナスの倫理学」	演習「古典ヘブライ語文法および創世記原典の講読・釈義」	小池 三郎講師	演習「Augustinus: De doctrina Christiana. De libero arbitrio.」
---------	----------------	------------------------	------------------------------	-------------------	-----------------	-------------------	-----------------------------	---------	---

今井 晋講師	演習「M. Luther: Vom unfreien Willen」
川村 永子講師	演習「S. Kierkegaard: Abschließende unwissenschaftliche Nachschrift」
片柳 栄一講師	読講「R. Bultmann: Glauben und Verstehen, I」

昭和五三年度論文題目

修士論文 伊藤 聰	「ハイデッカーと還向」
-----------	-------------

前 号 目 次

終末論の二類型

——キリスト教歴史観について——……………武藤 一雄

キリスト論の視点……………森田雄三郎

初期アウグスティヌスの人間学……………金子晴勇

Lumen Christi

——アレクサンドリアのクレメンスの光の表象——……………佐藤吉昭

ルターの „Obrigkeit“ に関する一考察……………早乙女禮子

ルターにおける信仰と礼典……………竹原創一

——礼典論を媒介とする信仰論の展開——……………村山周治

バルト「ローマ人への手紙」に於る神認識……………村山周治

執筆 者

水垣 涉
大島 征二
竹原 創一
小池 三郎
伊藤 利行
安酸 敏真
森 哲郎
片柳 俊子

京都大学助教授
信州大学助教授

京都大学大学院博士課程修了
チューリッヒ大学留学中

京都産業大学教授

京都大学大学院博士課程在学中

京都大学大学院博士課程在学中

京都大学大学院博士課程修了

テュビンゲン大学留学中

京都大学大学院博士課程在学中

第二号編集実務委員会

伊藤 邦幸
小池 三郎
高野 晃兆
林 忠良
片柳 栄一
宮庄 哲夫

一九七九年二月二〇日印刷
一九七九年二月二五日発行

定価 一〇〇〇円

発行者 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部
基督教文室内
京都大学基督教学会
発行人 伊藤 邦幸
印刷所 河北印刷株式会社

本誌の御註文は、右記、京都大学基督教学会(振替京都七二〇七)へ、送料とも一、二〇〇円(定価一、〇〇〇円、送料二〇〇円)を添えてお申込み下さい。

JOURNAL
OF
CHRISTIAN STUDIES

KIRISUTOKYOGAKU KENKYU

Vol. 2

December, 1979

Contents

- Origen's "Understanding of Christianity"*
(*Contra Celsum III*₂)Wataru Mizugaki
- Mark and the Gethsemane Story*Seiji Oshima
- Das Sprachproblem in der Theologie*Soichi Takehara
- The Conception of Christs Humanity in St. Augustin*
.....Saburo Koike
-
- Von der Παύδα im griechischen Alten Testament*
einschließlich der HexaplaToshiyuki Ito
- Der Begriff „Kompromiß“ bei Ernst Troeltsch*
..... Toshimasa Yasukata
- Zur „Welt“-Erfahrung bei Schelling*Tetsuro Mori
- „Außen“ und „Innen“ bei Luther*Toshiko Katayanagi

THE SOCIETY OF CHRISTIAN STUDIES
KYOTO UNIVERSITY

Kyoto Japan